「前期を終えて」

PTA会長　岡田　誠

日頃より置戸高校ＰＴＡ活動に、ご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。夏休みも終わり、慌ただしい中無事に前期課程が終了いたしました。本校は、他校と違い介護福祉士の国家試験を目指したカリキュラムのため、１年生は、新しい高校生活に戸惑いながらも、頑張ってきたことと思います。２年生は、後輩も入ってきてさらに、10月の実習に向けて大事な日々を過ごしてきたことと思います。３年生は長期実習を終え、いよいよ国家試験に向けて頑張ってきたことと思います。学校行事では、入学式や高体連、学校祭などがありました。中でも、学校祭では各学年のよさこいでの衣装や演舞には、置高生らしく、力強く、とても感動しました。人間ばん馬では、皆で力を合わせすばらしいチームワークでした。また、各学年のＰＲビデオは、普段の子供達の様子が見られ頑張っているのが、伝わってきました。個人的には、生徒が観客席に来てアメを配ってくれたとき、手を出していた私の前でちょうどアメがなくなり、もらえなかったことは、思わず笑ってしまいました。

後期には、また大きな行事や試験を控えており、苦しいときや辛いときがあるかもしれませんが、みなさんの頑張りを先生方が支えて下さり、保護者が見守っている事を忘れずに、日々努力し、学校生活を楽しんで下さい。来春には、生徒、先生、保護者の皆さまが、笑顔で卒業式を迎えられるよう今後とも、皆さまのご指導、ご理解をよろしくお願いします。

「地域とともにある学校づくりを目指して」

校長　坂本　浩哉

会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して、深いご理解と温かいご支援をいただき心より感謝申しあげます。

いよいよ3年生は国家試験に向けて一層の努力が求められる時期となりました。また、１・２年生は後期に実習が控えております。３年生に負けじと精一杯頑張ってほしいと願っております。

さて、去る6月1日（土）・2日（日）に第69回北海道高等学校ＰＴＡ連合大会胆振・日高大会が苫小牧市において開催されました。初日は元日本ハムファイターズ内野守備走塁コーチ兼作戦担当　白井一幸氏による「可能性を引き出すコミュニケーション」と題しての講演でした。講演の中で白井氏は、「頑張ることは大切だが、その頑張り方が重要である。」「ミスを責めるのではなく、励まし続けることが大切である。」「学びと行動は両輪であり、人は自ら行動を起こしたときに大きなエネルギーが生まれる。」など、コミュニケーションのあり方について、コーチ時代の実践経験を交えながら、実に興味深い内容でした。２日目の分科会では、「学校・地域・ＰＴＡの協働による活動のあり方について」各学校の特色あるさまざまな実践事例の紹介がありました。授業参加型の授業参観や地域産業との関わり方についてなど、活発な情報交換の中に、今後のＰＴＡのあり方に向けて数多くのヒントがありました。

これからの時代、予測のつかない困難な社会を生き抜くための力を育むには、未来の創り手・社会の支え手としての資質と能力を育まなければなりません。このことは学校の力だけでは限界があります。学校が地域の声を積極的に生かし、「地域とともにある学校」へ変容し、より一層地域と一体となった特色ある学校づくりを進めていきたいと思っております。今後も保護者の皆様とともに子どもの成長を後押ししていきたいと考えておりますので、変わらぬ温かいご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

☆置高スナップ☆

１年生宿泊研修
２泊３日の日程で、足寄町で行われました。学校外で貴重な体験ができました。この研修でクラスの交流を深めることができました。

学校祭
高齢者施設や旧置戸駅前（ぽっぽ）でよさこいを披露しました。学年毎に考えたよさこいを、一生懸命踊りきりました。

入学式
４月に新入生１３名を迎えました。１年生は先輩方に色々教えてもらいながら、少しずつ学校生活や寮生活に慣れてきました。

寮誕生日会
寮の前期誕生日会が行われました。北見のウエスタンで焼き肉やお寿司等、沢山美味しいものを食べることができました。

３年生進路出陣式
７月から行われていた全道各地での介護実習も終了し、３年生は進路実現に向けて、より意識が高まっています。

成績通知表の見方について　　教務部長　大野　祥宏

本校では前期末と学年末に５段階の評価・評定で成績を出しております。考査の結果だけではなく、授業や実習先での意欲、態度なども総合的に成績に反映されています。成績通知表を通じ学習状況や諸活動、出欠の状況等をお知らせすることで、学校と家庭が協力してお子様の成長を促していけたらと考えております。将来の目標に向け、今後、どのように学習に取り組んでいくべきかをご家庭で話し合うための資料としてご活用ください。

PTA事務局からお知らせ

2019年度置戸高校ＰＴＡ役員

役職	氏名	備考
会長	岡田　誠	２年生
副会長	下谷　弘美	３年生
	名雪　仁	３年生
監事・監査	佐々木　里美	３年生
	石井　圭	１年生
学年代表（１年）	川岸　亜寿香	１年生
学年代表（２年）	青山　岳雄	２年生
学年代表（３年）	佐々木　里美	３年生
顧問	石井　伸二	元会長
	坂本　浩哉	校長
事務局長	村上　謙二	教頭
校内理事	沼田　美由紀	教諭
	大森　涼太	教諭
会計	杉原　貴彦	事務長

～前期のＰＴＡ活動の様子～

授業参観・ＰＴＡ総会・保護者懇談会　（4／28）

学校祭　（７／６、７）

多数の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。

今後のＰＴＡ活動の予定

◎２月：第２回ＰＴＡ役員会（１９:００～　置戸高校会議室）

※役員の皆様には追ってお知らせいたします。

「将来を夢見て」
3年　K・S

3年　秋講習風景

私は２年生の頃実習で訪れていた施設に就職を希望しております。私は、祖父の入院や母親が介護職員になったことで福祉関係の職業に興味を持ち、介護職員を目指したいと考えました。就職後は利用者様一人ひとりの心に寄り添い、身体状況に合った個別的な介護を行っていきたいと考えています。また、利用者様だけでなく家族の方も安心した生活を過ごしていただけるよう十分な説明と同意を行い、また、家族の方が分かりやすい制度や法律、福祉用具などの情報を提供していきたいです。そのために、介護福祉士や医療などの勉強を模試の解説や出された課題だけで満足をせず、少しでも興味のわいたこと、気になったことを深く掘り下げていき、より自分に身につけていき、国家試験に受かって目標を達成できるよう頑張ります。

２年　バイタルサイン実習

「介護実習に向けて」
2年　M・Y

今、私たち２年生は 10 月 15 日から始まる３週間の介護実習に向けて、クラス全体で協力し合って着々と準備を始めています。

今回の実習は 1 年前に行った「コミュニケーション」がメインの実習とは違い、「実技」がメインとなる実習になります。そのため、今回の実習では、前回のコミュニケーションのみを行う実習とは打って変わり、直接利用者様に触れて介助を行うため、事故が起こる可能性や、怪我をさせてしまう危険性が生じてきます。また、利用者様を介助させていただくには、利用者様の私たちに対する信頼感が必要です。信頼感を得るためには、１年生の時に行った実習で培ったコミュニケーション能力を生かさなければいけません。

このように、今まで置戸高校で学んできた介護技術とコミュニケーション能力を生かし、クラス一丸となって実習に臨みたいと思います。

「今までとこれから」
１年　Y・N

１年　初めてのよさこい披露

介護福祉士になりたいという思いから置戸高校に入学して、気づくとあと少しで前期が終了してしまいます。入学したばかり頃はバスの乗り方や、学校で自分はどうやって生活していればいいのか全くわからず、不安と緊張でいっぱいな毎日でした。しかし、委員会活動で先輩方やクラスメイト、先生方との関わりが増え、不安や緊張することが少なくなってきました。

私は人見知りで人と関わったり、コミュニケーションを自らとったりすることが苦手でしたが、人との関わりを増やしていきたいと思い、ボランティア部に入部しました。こども園で幼い子どもと触れ合ったり、地域のイベントのお手伝いをしたりすることで ４ 月の私より表情は明るくなったと思います。これから介護総合演習が始まりますが、何事も諦めずにクラスメイトと共にレベルアップできるよう頑張りたいと思います。

～PTAの声～
「新たなる旅立ち」
一学年保護者　川岸　亜寿香

春、娘は希望と不安、挑戦する決意を抱き、将来を見据え一歩を踏み出しました。入学式では、緊張した様子ながらも、自信に満ちあふれ、これまでの成長過程を思うと、とても感慨深い気持ちで一杯になりました。

初日は一人一人の表情も硬く、全員と打ち解け課題を協力しながら前を進むことが出来るだろうか、成し遂げていけるのだろうかと心配になりましたが、参観日には、笑顔で笑い声も沢山あり、楽しく授業に参加している様子でした。この数ヶ月の行事や授業、課題と先生方や先輩方の心優しい声かけや支援もあり、同級生と共に相談し、成功へ進んで頑張る姿を見ると頼もしさを感じ安堵しています。

これから幾度となく辛い事や様々な葛藤もあるかもしれませんが、自分を大切にし、相手やまわり全ての人々への気づき、思いやりを持ち続けてほしいです。また、先生方や先輩方の福祉への心構えを聞き、想いが込み上げた時の感情、意気込みを忘れずに、三年間仲間と共に一つ一つの積み重ねと日々を大事にし、目標に向け努力し悔いの残らないよう過ごしてくれる事を願っております。

PTA研修会
～オケクラフト工作　バターナイフ作り～　無事終了しました。

去る９月１４日（土）、置戸町の「どま工房」でＰＴＡ研修会を実施しました。今回は保護者、生徒、教職員の計 １６名の方々に参加していただき、オケクラフト工作のバターナイフ作りを行いました。講師の方に教えていただきながら、工具や、やすりで自分好みのバターナイフの形にし、最後に蜜蝋でコーティングをして参加者の皆さんは無事にバターナイフを完成させることができました。

細かい作業もあり、難しいところもありましたが、参加者の皆さんは無事に完成したバターナイフで食事を楽しんでいただけたらと思います。お忙しい中ご参加いただいた保護者の皆様、ご指導いただきましたお二人の講師の方々、本当にありがとうございました。

進路実現に向けて　進路指導主事　水谷　愛

７月１６日から始まった３年生の介護実習が９月１３日に終了し、１７日から再び学校での学びが始まりました。しかし、ほっと一息つく暇もなく進路実現に向けて応募書類の準備や面接練習、小論文の練習などに追われる日々となりました。さらに、介護福祉士国家試験合格を目指して１８日から２４日まで秋講習が行われるなど、一分一秒を惜しみながら日々を過ごしています。

９月１７日に行われた進路出陣式では、校長先生からは「人間性」「やる気」などについての話をいただきました。この人と一緒に仕事がしたいと思っていただける人間性を磨き上げるためには日々の積み重ねが必要であるということ、どれだけ合格したいかという気持ちを持って日々の生活を送ることが大事だという助言をいただきました。また、一人ひとり進路実現に向けての意気込みも語り、不安と緊張の中にも強い意志を感じることのできる進路出陣式となりました。

３年生は、早い段階から進路意識を持ち、積極的にオープンキャンパスや学校説明会に参加したり、希望している施設のボランティア活動に参加するなど、自ら主体的に行動する力が備わっています。今後の学校生活や社会人になっても自らの意思で主体的に考え行動できる人であって欲しいと思います。

進路実現に向けて　３学年担任　髙橋　健太

３年生は７週間の介護実習を終えたばかりですが、９月１３日に就職活動が解禁となり、履歴書の作成や面接練習などに追われる慌ただしい日々を過ごしています。もうすでに就職試験を受けている生徒も出てきており、クラスの中でも緊張感が漂ってきています。

先日行われた進路出陣式では、改めて自分自身の進路と向き合うことができ、これから始まる進路活動に向けてそれぞれが真剣になることができたと思います。

高校生の進路は人生におけるターニングポイントです。就職すれば来春から社会人として社会に貢献することが求められ、そこには学生の時とは比べものにならない責任が生じてきます。進学すれば在学期間はもちろん勉学に励み、自分の夢を掴み取るために努力していかなければいけません。１３人全員がそれぞれの目標を実現できるよう、悔いのない結果を残せるよう、クラス一丸となって頑張って欲しいと思います。